

2010年7月13日  
東日本旅客鉄道株式会社

「グループ経営ビジョン2020 挑む」JR東日本の子育て支援プロジェクト  
JR東日本は多様な子育てニーズに応えます  
親子コミュニティカフェ & 駅型学童スタート！

- 当社では「JR東日本の沿線に住みたい」と思って頂けるよう「駅型保育園」の開発を進めております。これまでに35カ所(2010年7月現在)を開設し、約2,000名分(定員)を整備してまいりました。また子育て支援機能を拡充することで、地域の「子育てセーフティネット」となるよう努めてまいります。
- 今回、子育て支援機能拡充の一つとして、地域の子育てコミュニティ空間である「親子コミュニティカフェ」を開設します。保育園だけでなく、ママ友・イクメンの地域交流の場を設け、「集う」ことの楽しさを提供します。こうした子育て支援サービスの幅を広げることで、地域の一層の魅力向上を図ります。
- また、これまで開設してきた駅型保育園の利用者から要望の高い「学童保育」や「病児・病後児保育」へのニーズに応えるため、まず第一弾として「駅型学童」を開設します。子どもにとって快適な居場所と基礎学力と興味を育むコンテンツを集約し、安心・安全な「放課後の過ごし方」を提供します。
- 今回開設する親子コミュニティカフェ及び駅型学童には、保育園も新設いたします。

親子コミュニティカフェ (籠原駅ビル(仮称)内 2011年春開業予定)

子ども連れであってもゆっくりと、安心して過ごせることをコンセプトとして、「食」を中心に、「育」「学」「活」のサービス・機能を組み合わせた親子カフェを開設します。

特に、「食」については、「環境」「調理」「素材」の安全を第一に、「おいしい」と「安心」をご提供します。

また、清潔なキッズトイレ・授乳室・おむつ替えスペースを備え、幅広く地域の方々にご利用頂けます。

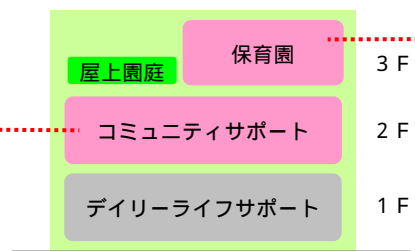
「親子コミュニティカフェ」を少子化時代の子育てインフラとして位置づけ、駅ビル機能との複合開発による相乗効果を図ります。

駅型学童 (八王子駅南口ビル(仮称)内 2010年12月開業予定)

当社の推進する駅型保育園をご利用頂いている方々のご要望に応え、保育園と同様、子どもにとって快適な居室とセキュリティを備えた安心・安全な駅型学童を開設します。

また、要望の多い「読み・書き」を中心とした基礎学力養成に主眼を置いた選択性プログラムや、科学実験教室等多様なコンテンツを揃えた駅型学童を目指します。

JR東日本は、子育て支援施設を2018年4月までに、累計60カ所まで開設することを目標とし、積極的に計画を前倒しで達成することで、地域の皆さまと連携していきます。

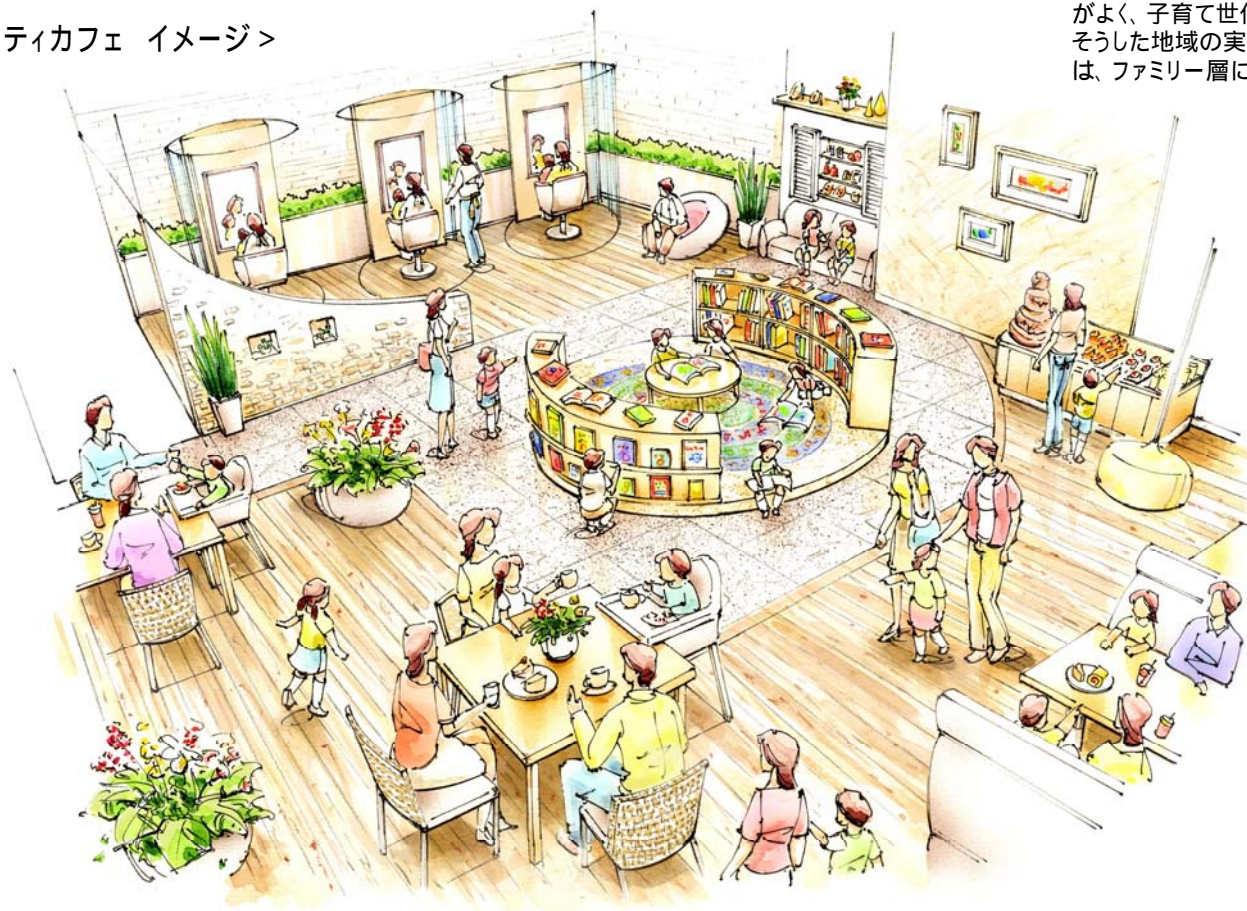


## 3階 専用庭を備えた認可(予定)保育園を開設

早朝6時30分～21時までの開所時間に加え、一時保育、休日保育も利用可能。更に、駅立地と籠原地域の複数保育園をつなぐ送迎保育ステーション機能も備え「地域の子育て力」のターミナル機能を果たします。

## 2階 新業態「親子コミュニティカフェ」を開設

<親子コミュニティカフェ イメージ>



籠原は湘南新宿ラインの始発駅として都心へのアクセスがよく、子育て世代が増加しています。そうした地域の実情を受けて、親子コミュニティカフェでは、ファミリー層に応える商品・サービスを提供します。

外観



2階

「駅型学童」活動イメージ



: 科学実験プログラムの様子  
 : 教室の様子  
 : 科学実験プログラムの様子  
 : 使用教材  
 小学校低学年向けの一例

業務施設	屋上緑化	7 F・R F
ビックカメラ		
ビックカメラ		
ビックカメラ		4 ~ 6 F
自由通路	飲食物販等	ビックカメラ
		3 F (JRコンコースフロア)
通路	飲食物販等	ビックカメラ
		駅型学童
		2 F
		保育園
		1 F
付置義務駐車場 約100台		B 1 F ~ B 2 F

1階

「東京都認証(申請予定)保育園」イメージ

